

函館 2 まちあるきマップ

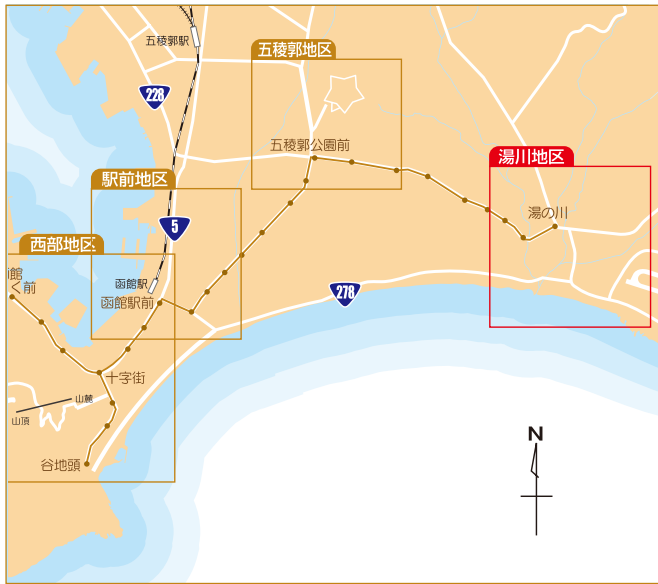
湯の川あったか散歩道 ～知られざる湯の川の歴史を訪ねて～

所要時間 110分 距離 4.1km 消費カロリー 330kcal

- ・湯川黒松林
- ・湯の川温泉足湯「湯巡り舞台」
- ・湯の川球場跡
- ・旧戸井線
- ・湯川寺(とうせんじ)の三十三観音
- ・湯倉神社
- ・湯の川温泉発祥の地碑
- ・千人風呂(現竹葉新葉亭)
- ・函館市熱帯植物園



函館全体エリアマップ



湯川地区



スタート地点までのアクセス

JR函館駅から5.1km(函館バス95・96系統)15分
市電「湯の川温泉」下車徒歩10分

函館 知ってる? 知ってる?

湯の川温泉は、科学者でもある榎本武揚の「この温泉を百尺(約30m)も掘り下げたら必ず熱い湯が多量に出るだろう」という言葉を信じて石川藤助がボーリングを続け、明治19年(1886)に毎分140リットルの温泉を掘り当て、本格的な開発が始まりました。箱館戦争時には、250名の傷病兵を療養させ榎本自身もこの温泉につかっていたとされ、湯の川の隣町「榎本町」は彼の名にちなんで名付けられたと言われています。



函館市電路線図 湯の川～十字街間は8分間隔で運転しています。

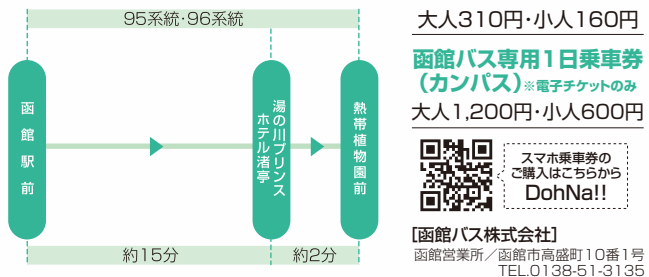


乗車料金のお支払いには nimoca, Kitaca, Suica, など 各種交通系 IC カードがご利用いただけます。

お得な! 市電1日乗車券販売中! 大人600円・小人300円
お求めは車内のほか、沿線の一部コンビニ、ホテルなどでどうぞ!

【函館市企業局】 函館市駒場町15番1号 TEL.0138-32-1730
<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014012100939/>
ケータイから各電停の時刻表も見られる!

函館バス(函館駅前～熱帯植物園前)



函館市公式 観光情報サイト「はこぶら」
<https://www.hakobura.jp/>



発行・お問合せ先



函館市観光部

〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号
TEL.0138-21-3323

※2024年5月現在の情報です。使用できる施設・価格等が変更になる場合がございます。

(2024年7月発行)

1 湯川黒松林



金森洋物店や金森倉庫の創業者初代渡辺熊四郎が私財を投じ明治22年(1889)から11年間にわたり植林した北海道最初の防風防砂林。

2 湯の川温泉足湯「湯巡り舞台」



平成19年(2007)にオープン。鮫川沿い市電湯の川温泉電停のそば。歩き疲れた足の癒やし場。一度に20人程度が利用できる、9:00~21:00迄無料で楽しめる施設。

3 湯の川球場跡



昭和9年(1934)11月8日に世界最強と言われた全米選抜チームと全日本選抜チームとの第2回日米野球大会が湯の川球場で行われた。米軍はベーブ・ルース、ルー・ゲーリックらの強豪選手、対する日本チームは市岡忠男総監督、主将久慈次郎の下、対戦に当たった。

4 旧戸井線



戸井線は、戦時中の昭和12年(1937)に軍事物資輸送目的に建設が開始された鉄道路線で、その後、資材不足により中止され未完成となった。現在は、遊歩道としてその一部が活用されている。

5 湯川寺(とうせんじ)の三十三観音



湯川寺にある観音像はもともと函館山に安置されていたもので、函館山が要塞となったときの裾野に下ろされた。大正3年(1914)に湯の川村各地に遷座したが、道路拡張工事等で管理者がいなくなった観音像が多くなったため、湯川寺三世住職が引き取り現在の位置へ安置された。

6 湯倉神社



500年以上前のこと、きこりが両腕の関節を痛めた際、沸き湯で湯治し完治。そのお礼に薬師如来を刻み形ばかりのお堂を建てて安置したのが、今日の温泉の始まりであり湯倉神社の起源であるという伝説がある。

7 湯の川温泉発祥の地碑



昭和22年(1947)に湯の川倶楽部が建てたもの。その碑の裏には湯の川温泉で千勝丸(松前藩主松前高広)が湯治したことが建立の理由として書かれている。

8 函館市熱帯植物園

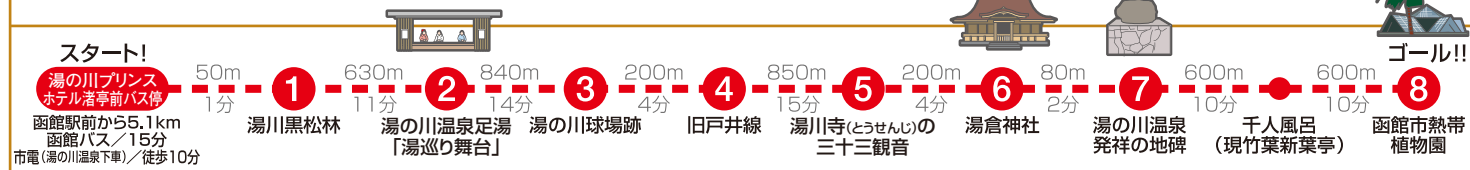


温室には約三百種・約三千本の植物を展示しているほか、足湯・手湯付の休憩所があるなど源泉地ならではの楽しみが味わえる施設。

開館 4~10月 9:30~18:00、11~3月 9:30~16:30
入場料 一般300円
休 12月29日~1月1日

湯の川あったか散歩道 ~知られざる湯の川の歴史を訪ねて~

所要時間 110分 距離 4.1km 消費カロリー 330kcal ※消費カロリーはおおよその目安です。



大正9年(1920)錦輝館(きんきかん)の館主岩見永次郎が、現在の市民会館付近に湯の川新世界という娯楽場を建設。遊園地、動物園、人工の滝などがあり市民の憩いの場であったようです。

さまざまな地元の店が並び湯川商店街。

千人風呂(現竹葉新葉亭) かつて野外に温泉があり、その大きさから千人風呂と呼ばれていた。

8月には「湯の川温泉花火大会」が行われ、夏の風情が楽しめます。

ラグビー場があるほか、ジョギングコースとしても親しまれています。飛行機の発着が間近に見えるスポットとしても人気です。

温泉に入るサル(12月~5月上旬)

海岸風景は四季を通して絵になる景色です。

撮影オススメポイント!!

トイレ

多目的トイレ

駐車場

スタート!

ゴール!!